

第 2022-S001 号
2022 年 4 月 14 日

関係各位

公益財団法人 日本ライフセービング協会
ライフセービングスポーツ本部
本部長 宮部周作

ISA WSUPPC パドルボード日本代表に関する選手選考基準

日頃より日本ライフセービング協会（JLA）の諸事業に対しまして、多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

2022 ISA World SUP and Paddleboard Championship 日本代表選手の決定および派遣について、下記のとおりお知らせします。

記

1. 大会概要

大会名 2022 ISA World SUP and Paddleboard Championship (WSUPPC)
主催 国際サーフィン連盟（英：International Surfing Association、略：ISA）
会場 プエルトリコ
開催期間 2022 年 10 月 28 日 - 11 月 6 日

2. 選考基準

下記条件を満たした者を日本代表選手として世界大会へ派遣する。

（1）選考大会

大会名 SUP & Paddleboard 選手権大会 (ディスタンス・テクニカル・スプリント)
<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/news-info/20220322-9877/>
共 催 一般社団法人日本サーフィン連盟 (NSA)
一般社団法人日本スタンドアップパドルボード協会 (SUPA)
公益財団法人日本ライフセービング協会
日 程 2022 年 6 月 11 日 ~ 12 日
会 場 外浦 (静岡県下田市柿崎)
白浜大浜 (静岡県下田市白浜)
弓ヶ浜 (静岡県賀茂郡南伊豆町)

(2) 条件

- ① 選考大会の結果、各種目上位の選手から世界大会に出場する権利が与えられる。
- ② 首位選手が権利を放棄した際は、次位以下の選手にその権利が与えられる。但し、首位選手のタイムからプラス 20%以内の順位であること。
- ③ 全種目で 1 位を獲得した場合、該当する選手は全種目にて日本代表の権利が与えられるが、どちらか一方および全権利を放棄した際は (2) に準じて次位以下の選手にその権利が与えられる。
- ④ 日本代表選手に決定した際には、2022 年度 NSA の SUP パドル会員の登録を行うこと。(年会費¥5,000-)
- ⑤ 前項すべてを考慮し、JLA ロングディスタンス分科会が選出し、JLA 理事会承認を得た選手を、JLA は NSA に 2022 年度 ISA WSUPPC パドルボード日本代表候補選手として報告する。日本代表選手は NSA 理事会にて最終承認される。

(3) 選出人数

- ① ロングディスタンス種目 男子 1 名、女子 1 名
- ② テクニカル種目 男子 1 名、女子 1 名

3. 補足

- (1) WSUPPC ではミックスリレー種目 (Paddleboard, SUP) にも出場する機会があるが、その出場選手は選出された選手間で決めること。
- (2) JLA は 2022 年度 ISA WSUPPC パドルボード日本代表選手に対し、1 種目につき ¥100,000 の補助を予定している。
- (3) JLA は 2022 年度 ISA WSUPPC パドルボード日本代表選手に対し、世界大会エントリー、世界大会の渡航にかかわる事項、世界大会参加に伴うクラフト搬送にかかわる事項に関して、費用は選手自身の自己負担となるが、手続きに関しては JLA によるサポートを予定している。

以上

